（事業報告書参考様式　記載例）

令和　　年　　月　　日

東部エリア観光コンテンツ等造成及び賑わい創出支援補助金事業報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容等 | （１）実施内容  　※　造成したコンテンツ又は実施した観光ツアーの内容及び活動状況を具体的に記載すること。  【ツアー行程】  ＬＲＴ△△停留場集合⇒（バスで移動）⇒  ①○○農園で農業体験⇒（バスで移動）⇒  ②地産地消推進店××レストランで昼食⇒（バスで移動）⇒  ③△△農園で果物狩り，収穫果物のデザートを堪能⇒（バスで移動）  ⇒ＬＲＴ△△停留場解散  【ツアー詳細】  ①○○農園で農業体験（１時間３０分程度）  　・さつまいもの収穫体験（１人２～３本程度のお土産あり）    画像  画像    ②地産地消推進店××レストランで昼食（１時間程度）  　・季節のおすすめコースの堪能  画像  画像  ③△△農園で果物狩り，収穫果物のデザートを堪能（２時間程度）  　・梨狩り体験（１人２～３本程度のお土産あり）  　・△△農園で収穫された果物を使ったデザートでティータイム，参加者同士の交流の場の提供。  画像  画像  （２）実績  ※　参加人数や実施回数（開催日程も含む），事業収益を記載  ※　その他の得られた効果等（自由記載）  【ツアー開催日と参加人数】  令和７年９月○日：１０人（子ども４人含む）  ９月△日：１２人（子ども６人含む）  １０月×日：　８人（子ども３人含む）  １０月○日：１５人（子ども８人含む）  １０月△日：１８人（子ども８人含む）  　【事業収益】  大人〇〇円×３４人＝△△円  子ども××円×２９人＝〇○円  合計　××円  【その他得られた効果】  ・ツアーを実施することで，他の農園や飲食店からも来年度以降に「是非ツアー行程に入れてほしい」との声が寄せられた。  ・○○農園については，今回のツアーでさつまいもの収穫体験ができる機能が整ったため，今後も○○農園独自でさつまいも収穫体験を実施していく予定。また，他の農作物についても収穫体験等の導入を検討していくとのこと。 |
| 実施後の課題 | ※補助事業実施後の課題や改善点等記載  ・ツアー参加者が親子連れに偏ってしまった。  　⇒若者にも参加してもらえるよう，周知方法を工夫する必要あり  ・さつまいも収穫は好評であったものの，服装が汚れるなどの問題もあった（特に，首都圏からの来訪者等）。  ⇒着替えを準備する又は持ち物に加える等の対応が必要 |
| 来年度の実現性  ※　②体験型観光ツアー等造成支援申請者のみ | （１）来年度における補助事業の継続性の可否  　※継続性の可否を記載。（否である場合，その理由も記載すること）  ⇒来年度も継続して事業実施予定  （２）今後の事業展開  　※検証結果を踏まえた今後の方針や事業実施スケジュール等  　【今後の方針】  ・今回の事業結果を踏まえながら，事業を改善する  ・来年度に向けてツアーを造成する  【事業実施スケジュール】  令和６年１２月　　　令和５年度事業の反省  令和７年１月～４月　令和６年度事業実施に向けた事業の改善と  新たなツアーの造成  　令和７年５月　　　　事業周知開始  令和７年６月～１０月事業展開（月２回程度予定） |
| アンケート等調査結果  ※　②体験型観光ツアー等造成支援申請者のみ | 別紙参照  ※ツアー参加者属性（性別，年齢，住まい，交通手段等）やツアーの感想等を記載したものを添付。グラフや表を用いて示すとなお良い。  ※調査したアンケート結果をそのまま添付は不可 |
| 添付書類 | 実施状況が確認できる案内チラシや写真等 |